組合だより

2023. 1. 20 発行　第 247 号

新年交礼会を開催

令和5年新年交礼会が、1月18日（水）午後6時より札幌ホテルヤマチにおいて開催されました。

新型コロナウイルスが発生してから丸3年が経過し、未だ収束の兆しが見えない中、今年はウィズコロナの下、昨年を上回る51名の方々の出席をいただきました。

会は、花田理事の司会で進められ、今井理事長の挨拶のあと、ご来賓の北海道経済産業局・辻地域経済部長、北海道・新津経済部次長、札幌市・坂井産業振興部長の3名からご挨拶をいただきました。

今井理事長からは、冒頭に様々な制約がある中、今年も新年交礼会を開催できたことへの安堵と日頃の組合員への感謝、さらには多忙の中、出席された来賓及び関係各位への感謝の言葉がありました。

続けて、昨年はウクライナ侵攻をはじめ、一層激化する気候変動や国民を歓喜の渦の巻きこんだワールドカップでの侍ブルーの活躍など、昨年の漢字に選ばれた「戦」を象徴するような一年であったこと、今年は厳しい経営環境の中、組合員の協力により

飛躍の年にしたいと締めくくりました。

経済産業局・辻部長からは、コロナ発生から3年が経過するが、少しずつ社会経済活動が再開しつつあり、インバウンド需要の回復も期待がもてる。一方で国際情勢が激化する中、エネルギーや原材料の高騰など厳しい経営環境の中、今年は中小企業の価格転嫁や実質賃金の引上げに向けた環境整備をはじめ、事業再構築、DX の推進、カーボンニュートラルの実現、さらにはサプライチェーンの構築に向けたパートナーシップの推進など、更なる成長を図っていきたいと述べられました。

北海道・新津次長からは、近年の原油・エネルギーの高騰により厳しい経営環境を強いられている中、北海道経済にとって重要なインバウンドが回復しつつある。今年は「G7 気候・エネルギー・環境大臣会合」や「アドベンチャートラベル・ワールドサミット」が開催されるほか、3月には北海道ボールパーク F ビレッジが開業し、北海道の魅力や強みを内外に発信する良いチャンスである。今年の干支である卯のように大きく跳躍し、北海道の得意分野を活かしていきたいと述べられました。

札幌市・坂井部長からは、コロナも3年目となり、今年は雪まつりが3年ぶりにリアル開催となります。

昨年は、物価高騰の価格転嫁に関するアンケート調査や意見交換会を実施しました。今後は企業の人手不足対策やモノづくり支援の補助事業を充実させていきたい。今年は 4 月に「G7 札幌気候・エネルギー・環境大臣会合」が開催されるので、本市の取り組みを世界に発信するとともに、脱炭素社会の実現に向けた動きを加速させていきたい。昨年は市制施行 100 年を迎え、現在市内では50年に1度の再開発が始まっている。今後とも魅力と活力を創造し続けるまちづくりを進めていくため、皆さんからリアルな意見をいただきたいと述べられました。

その後、北海道中小企業団体中央会・松浦専務理事のご挨拶と乾杯で祝宴に入り、出席者間の名刺交換や和やかな交流・懇談が行われ、後半にはビンゴ大会で一気に盛り上り、最後は山本副理事長の一本締めにて午後8時に終焉しました。

札幌鉄工関連協同組合
・ TEL661-2648・ FAX 665-1408
ホームページ kanren.sakura.ne.jp
E-mail : kanren00@poem.ocn.ne.jp